

番号	担当	内容
1	担当	担当
2	担当	担当
3	担当	担当
4	担当	担当
5	担当	担当
6	担当	担当
7	担当	担当
8	担当	担当
9	担当	担当
10	担当	担当
11	担当	担当
12	担当	担当
13	担当	担当
14	担当	担当
15	担当	担当
16	担当	担当
17	担当	担当
18	担当	担当
19	担当	担当
20	担当	担当
21	担当	担当
22	担当	担当
23	担当	担当
24	担当	担当
25	担当	担当
26	担当	担当
27	担当	担当
28	担当	担当
29	担当	担当
30	担当	担当
31	担当	担当
32	担当	担当
33	担当	担当
34	担当	担当
35	担当	担当
36	担当	担当
37	担当	担当
38	担当	担当
39	担当	担当
40	担当	担当

目 次

ページ	主な取組	整理番号
1	日常生活圏域単位での地域包括ケア推進会議(協議体)	1-1-1/2-2-1(再掲)
2	課題検討型地域ケア個別会議および地域ケア会議(校区単位)	1-1-2/2-2-2(再掲)
3	健康まちづくり、関係機関との協働による地域における啓発活動	1-1-3/3-4-1
4	子育て支援ネットワーク連絡会	1-1-4
5	子どもの食育推進ネットワーク(東エリア)	1-1-5
6	みなし仮設入居者交流会	1-1-6
7	まちづくり活動表彰(仮称)	1-2-1
8	多種多様な通いの場づくりの推進	1-2-2
9	自立支援型地域ケア個別会議	1-2-3/2-1-2(再掲)
10	健康まちづくり推進員養成および健康まちづくり推進員活動支援	1-3-1-1/3-1-1(再掲)
11	食生活改善推進養成講座、食生活改善推進員研修	1-3-1-2-1/1-3-1-2-2 3-1-1(再掲)
12	8020推進員育成事業、8020推進員地域活動支援事業	1-3-1-3-1、1-3-1-3-2 3-1-1(再掲)
13	認知症サポートリーダー養成講座、認知症徘徊模擬訓練実施支援、 認知症シンポジウム、認知症サポートブック作成・配布	1-3-1-4 (3-1-1/4-1-1-2再掲) 4-1-2/4-1-4/4-4-1
14	介護予防サポーター養成講座	1-3-1-5/3-1-1(再掲)
15	ボランティア交流会	1-3-2
16	ボランティア活動体制整備	1-3-3/3-1-2(再掲)
17	校区防災連絡会・避難所運営委員会	1-4-1
18	地域防災合同訓練	1-4-2
19	福祉避難所および福祉子ども避難所の周知と設置・運営訓練	1-4-3
20	東区被災者支援推進会議	1-4-4
21	東区まちづくりシンポジウム	1-5-1
22	市政だよりやSNSの活用	1-5-2/4-4-2(再掲)
23	専門職研修、連携強化	2-1-1
24	生活支援コーディネーターの会	2-3-1
25	生活習慣病予防対策事業、生活習慣病重症化予防	3-2-1/3-3-2
26	フッ化物洗口事業	3-2-2
27	フレイル予防、高齢者サロンの活動支援	3-3-1-1、3-3-1-2
28	くまもと元気くらぶ	3-3-1-3
29	認知症サポーター養成講座	4-1-1-1
30	認知症サポート医連携推進	4-2-1-1
31	認知症カフェ連絡会	4-2-1-2
32	認知症初期集中支援チームの周知、連携強化	4-2-2
33	認知症高齢者等見守りネットワークの体制整備	4-2-3
34	災害時要援護者支援制度の周知	4-3-1

【様式①】

「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課名	福祉課、ささえりあ保健子ども課、まちづくりセンター、障がい者相談支援センター、市社協東区事務所、自治協等地域組織、事業所、医療機関、ボランティア	整理番号: 1-1-1 2-2-1(再掲)	主な取組: 日常生活圏域単位での地域包括ケア推進会議(協議体)										
事業概要	校区またはささえりあ圏域毎に、地域課題の整理と解決策の検討を行う。												
目標	自治協等の地域組織と専門職の連携強化と、協働による社会資源(生活支援や集いの場等)の拡充をめざす。												
H29年度 事業実績	校区または各ささえりあ圏域毎に、自治会長や民生委員、医療・福祉の専門職などで構成された会議を年1〜4回程度開催し、地域での活動状況の共有や課題に関する意見交換を実施。福祉課と一部まちづくりセンターが出席。												
課題	会議の趣旨に関する共通理解が十分とは言えない。 現在の体制では地域課題の深掘りや具体策の検討は難しく、検討事項に応じた委員の選定や地域の中での当会議の位置付けに関する検討が必要。 また、各課のまちづくり担当実務者の連携が必要。												
今後の展開・方針	○まちづくり担当実務者連絡会の定期開催 ○検討事項に応じた委員の選定 ○ささえりあ的生活支援コーディネーターとともに、協議内容について検討し、 ・地域課題の共有 ・地域資源(自治会等の地域活動、サロン等の通いの場、医療機関や事業所等相談窓口)の一覧化 ・生活支援(例:家事援助、移動支援等)の拡充や通いの場の創出など、自主自立のまちづくりを推進する。 【スケジュール】 <table><tr><td>2018</td><td>2019</td><td>2020</td><td>...</td><td>2023</td></tr><tr><td>○協議体の目的の共有</td><td></td><td>○評価 ○方針の見直し</td><td>⇒</td><td>○評価 ○方針の見直し</td></tr></table> 【平成30年度到達目標】 ○協議体の趣旨目的を説明し、共通理解を図る ○まちづくり担当実務者会議を定期的で開催する ○その中で各協議体の方針や委員について、生活支援コーディネーターと検討する			2018	2019	2020	...	2023	○協議体の目的の共有		○評価 ○方針の見直し	⇒	○評価 ○方針の見直し
2018	2019	2020	...	2023									
○協議体の目的の共有		○評価 ○方針の見直し	⇒	○評価 ○方針の見直し									
平成30年度の取組状況 (12月末現在)	各ささえりあ圏域毎におおむね4半期毎に開催。校区単位での開催や、検討事項に応じてオブザーバーを招く等、情報共有の場から課題検討の場へ、徐々に変化している。 また、まちづくり担当実務者連絡会(ささえりあ、社会福祉協議会、相談支援センター、まちづくりセンター、保健子ども課、福祉課)を開催し、情報共有を図っている。												
2019年度 事業展開方針	各協議体の状況に応じた対応を生活支援コーディネーターと共に検討。まちづくり担当実務者会議を継続する。												

【様式①】「東区ささえあいプラン」アクションプラン推進状況

課名 ささえあい、福祉課 保健子ども課、 まちづくりセンター、 事業所、専門職、 障がい者相談支援センター	整理番号 1-1-2 2-2-2(再掲)	主な取組 課題検討型地域ケア個別会議 および地域ケア会議(校区単位)										
事業概要	個別ケースの課題検討・分析を重ねることで、地域に共通した課題を明確にする。											
目 標	個別ケースの課題解決機能の向上とネットワークづくりの推進。また、地域課題の把握を進め、協議体での検討につなげる。											
H29年度 事業実績	個別ケースの対応方針に関する検討が中心で、地域課題の抽出等を行っていないが、一部の校区では、地域ケア計画の見直しを通して社会資源の把握を行った。											
課題	これまではデータの蓄積がなく、十分な分析が行えていない。											
今後の展開・方針	会議を開催し、データを蓄積するとともに、課題解決機能の向上とネットワークづくりを推進する。また把握した地域課題は協議体の場で共有、検討を進める流れが定着することをめざす。 【スケジュール】 <table><tr><td>2018</td><td>2019</td><td>2020</td><td>...</td><td>2023</td></tr><tr><td>○課題検討型地域ケア会議の開催 ○課題抽出の仕組みについて検討</td><td>➡</td><td>○評価 ○方針の見直し</td><td>➡</td><td>○評価 ○方針の見直し</td></tr></table> 【平成30年度到達目標】 生活支援コーディネーターとともに、データ蓄積、課題抽出の仕組みを検討する		2018	2019	2020	...	2023	○課題検討型地域ケア会議の開催 ○課題抽出の仕組みについて検討	➡	○評価 ○方針の見直し	➡	○評価 ○方針の見直し
2018	2019	2020	...	2023								
○課題検討型地域ケア会議の開催 ○課題抽出の仕組みについて検討	➡	○評価 ○方針の見直し	➡	○評価 ○方針の見直し								
平成30年度の実績状況 (12月末現在)	計96回実施。参加した関係機関は延べ625機関。 検討された主な課題(一部) ・認知症や精神疾患のある方を地域でどう支えるか (見守り体制づくりや近隣トラブルへの対応等) ・歩いて行ける距離に、サロン等の集える場を増やしていくには ・移動支援や会食、配食等の地域の支え合いの取組に関する検討											
2019年度 事業展開方針	取組を継続。抽出された課題は協議体やまちづくり担当実務者会議でも取り上げ、生活圏域あるいは区単位でも共有し、解決に向けた検討を行う。											

【様式①】

「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課名	保健子ども課、まちづくりセンター、福祉課、総務企画課、ささえあい、自治協等地域組織、ボランティア障がい者相談支援センター、医療機関	整理番号: 1-1-3 3-4-1	主な取組: 健康まちづくり 関係機関との協働による地域における啓発活動										
事業概要	住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりのため、健康(生活習慣病予防等)をテーマにまちづくりに取り組む。 地域や関係機関と健康課題やめざす姿を共有し、地域の特色や強みを生かした健康まちづくり活動に取り組む。												
目 標	住民が自らの健康を意識した生活ができ、地域包括ケアシステムの構築のための自助・共助によるまちづくりを推進する。 地域との連携強化および、地域主体の健康づくりの啓発活動を企画・実践する。												
H29年度 事業実績	○健康まちづくり ・地域組織のリーダー等への健康まちづくりの働きかけ 80回延1,000名 ・健康講座等の取組み 50回延3,111名 ・健康まちづくり推進員養成 21名												
課題	・生活習慣病予防を働き盛り世代を中心に展開したいと考えるが、ターゲット世代を対象としたイベント自体が少なく、地域の既存事業の中での実施が難しい。 ・校区単位での単発での事業ではなく、地域(PTA、青少協等)、まちづくりセンターと協働して戦略的に取り組む必要がある。												
今後の展開・方針	・「東区ささえあいプラン」の地域説明や健康講座・健康イベント等の具体的な取組みを校区単位あるいはまちづくりセンター単位で実施する。 ・健康ボランティアと東区の健康課題、取組み目標を共有し、地域イベント等で協働での健康づくり啓発活動を実施する。 【スケジュール】 <table><tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td><td>...</td><td>H35</td></tr><tr><td>○地域包括ケア推進会議と健康まちづくりの一体的推進開始</td><td>⇒</td><td>○評価 ○方針の見直し</td><td>⇒</td><td>○評価 ○方針の見直し</td></tr></table> 【平成30年度到達目標】 ・まちづくり実務担当者会議の中で、健康課題の共有及び生活習慣病予防の取組み方針について検討することができる。			H30	H31	H32	...	H35	○地域包括ケア推進会議と健康まちづくりの一体的推進開始	⇒	○評価 ○方針の見直し	⇒	○評価 ○方針の見直し
H30	H31	H32	...	H35									
○地域包括ケア推進会議と健康まちづくりの一体的推進開始	⇒	○評価 ○方針の見直し	⇒	○評価 ○方針の見直し									
平成30年度の取組状況 (12月末現在)	○健康まちづくり ・「東区ささえあいプラン」の地域説明や健康講座・健康イベント等の具体的な取組みを校区単位あるいはまちづくりセンター単位で実施 ・健康講座等の取組み 27回延2377名 ・健康ボランティアの養成及び活動支援中 ○関係機関との協働による地域における啓発活動 ・各ボランティア等との協働による啓発活動実施中 ・区民まつりボランティア健康ブースでの糖尿病の予防啓発実施(9/23)												
2019年度 事業展開方針	まちづくりセンターや健康ボランティア組織等との連携協力により、住民主体の健康まちづくりを推進する。												

【様式①】 「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課名 保健子ども課、 まちづくりセンター、福祉課、 自治協等地域組織、小学校、 中学校、保育園・幼稚園等、 市社協東区事務所、 障がい者相談支援センター 医療機関	整理番号: 1-1-4	主な取組: 子育て支援ネットワーク連絡会										
事業概要	区や校区単位の子育て支援ネットワーク活動の活性化を図り、安全・安心して子育てができるまちづくりをさらに推進することを目的に、以下の①～⑤の内容について協議し、実施、評価する。 ①「運営委員会」の活動の充実を図る ②「活動事例集」を活用し校区ネットワークの活動の活性化を図る ③防災の視点を入れた「あつまっぶる改定版」を作成する ④「防災リーフレット」を活用した防災教育の普及啓発を行う ⑤ワークショップ結果を元に運営委員会で子育て中の保護者と協働でできる取組について協議する											
目 標	子育て世代も地域包括ケアシステムの一員として、安心して子育てができる環境を整備し、世代間交流等などを通してソーシャルキャピタルを強化する。											
H29年度 事業実績	・校区ネットワーク間の連携と活動活性化をめざし、運営委員会を年4回、連絡会(研修会)を年1回実施 ・子育て支援ネットワーク活動事例集の作成 ・子育て世代をターゲットにした防災講座を企画、実施(10校区実施)											
課題	・子育て支援ネットワークの活動は校区差が大きいため、各ネットワークの活性化を図るとともに区全体でネットワーク活動を推進する体制づくりが必要である。 ・子育て中の保護者との協働による子育て支援の仕組みづくりが不十分である。											
今後の展開・方針	・子育て支援ネットワーク運営委員会、連絡会を継続する。 ・防災の視点を入れた「あつまっぶる改定版」を作成する。 ・校区ネットワークで防災講座を実施する。 【スケジュール】 <table border="1" data-bbox="555 1182 1157 1317"> <thead> <tr> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>...</th> <th>H35</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○現事業の継続 ○世代間交流事業の実施</td> <td>⇒</td> <td>○評価 ○方針の見直し</td> <td>⇒</td> <td>○評価 ○方針の見直し</td> </tr> </tbody> </table> 【平成30年度到達目標】 ・防災教育の実施(目標:6校区) ・ワークショップを通して子育て中の保護者の現状把握や人材発掘を行い、運営委員会の中で保護者を取り込んだ子育て支援について協議する。(ワークショップ2回、運営委員会4回)		H30	H31	H32	...	H35	○現事業の継続 ○世代間交流事業の実施	⇒	○評価 ○方針の見直し	⇒	○評価 ○方針の見直し
H30	H31	H32	...	H35								
○現事業の継続 ○世代間交流事業の実施	⇒	○評価 ○方針の見直し	⇒	○評価 ○方針の見直し								
平成30年度の実績状況 (12月末現在)	・運営委員会を年4回、連絡会1回(110人参加)実施。 ・前年度作成の「活動事例集」の活用(17校区のネットワーク会議で協議) ・子育て世代を対象とした防災講座の実施(6校区実施) ・子育て中の保護者及び子育てネット運営委員会メンバーを対象としたワークショップの実施(8月10日に1回目を実施、保護者11人参加。9月13日に2回目を実施、保護者8人、運営委員6人参加) ・あつまっぶるアンケート調査(保護者・赤ちゃん訪問支援員各500人に7月調査票送付し、集計・分析済み。調査結果をまとめた文書を赤ちゃん訪問支援員に配布し、説明した。また、連絡会の中でも報告を行った。)											
2019年度 事業展開方針	1.東区子育て支援ネットワーク運営委員会を通し、校区ネットワーク間の情報共有を図り、校区を超えた相互協力の体制整備を推進する 2.あつまっぶるや活動事例集、防災リーフレットを活用しながら、より実践的な子育て支援活動の取り組みを進める 3.子育て中の保護者や地域の子育て支援機関を対象とした「防災教育」を継続実施し、保護者の防災力向上を図る 4.運営委員会と保護者との意見交換の場を作り、校区ネットワークに保護者が参画できる体制づくりを目指す 5.区ホームページやフェイスブック、ライン等を活用し、わかりやすくアクセスしやすい子育て情報を発信に取り組む											

【様式①】 「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課名 保健子ども課、 まちづくりセンター、 自治協等地域組織、ボランティア 保育園・幼稚園等、専門職 子育て支援センター	整理番号: 1-1-5	主な取組: 子どもの食育推進ネットワーク 東エリア																		
事業概要	子どもの食育推進ネットワークメンバーが連携し、食育活動を通して、子どもだけでなく保護者の健康づくりに貢献する。																			
目 標	ネットワークメンバーが連携した食育活動を推進する。 子どもへの食育を通じて、その保護者への健康づくりにつなげる。 熊本地震の経験から、非常時の食の備えのための自助・共助の啓発を行う。																			
H29年度 事業実績	・子どもの食育推進ネットワーク研修会 回数 6回、参加者数 194人 ・食育活動で使用する、自助啓発資料、食育活動ヒント集、食育レシピ集を作成。 ・食育アンケート調査の実施																			
課題	・子どもの食育推進ネットワークの認知度が低い。 ・ネットワークの関係機関同士が連携した活動に結びつきにくい。 ・自主的な活動が困難な機関がある。																			
今後の展開・方針	・ネットワーク間が連携した食育活動を活性化し、健康まちづくりを推進して、ネットワークの認知度を高める。 ・ネットワークの関係機関が連携して活動を展開できるよう、研修会や意見交換等を実施する。 ・H29年度に作成した媒体「食育活動のヒント」「食のきほんBOOK」「子育て世代向け食料品備蓄ガイド」を活用し、ネットワークメンバー自らが食育活動を展開する。 【スケジュール】 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>...</th> <th>H35</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○メンバーの自主的な食育活動の支援</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○評価</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 【平成30年度到達目標】 他団体と連携し活動した機関を増やす。 作成した媒体を使用した活動を行う。			H30	H31	H32	...	H35	○メンバーの自主的な食育活動の支援						○評価					
	H30	H31	H32	...	H35															
○メンバーの自主的な食育活動の支援																				
○評価																				
平成30年度の実施状況 (12月末現在)	・子どもの食育推進ネットワーク研修会 回数 1回、参加者数 63人 ・平成29年度に作成した媒体を活用した食育活動実施中。 (保護者向け料理教室、親子クッキング、食育教室(カミカミ試食)) (出前講座、ネットワーク登録団体での啓発) ・食育アンケート調査実施中。																			
2019年度 事業展開方針	1. ネットワークメンバーが関係機関と連携し、地域で自主・自立した食育活動を通して、地域の防災力のひとつである食の備えを啓発していく 2. 栄養のバランスや食育を意識した食料品備蓄の方法をSNS等を活用し情報提供していく 3. ネットワーク登録団体が地域において自主・自立した食育推進活動ができるよう支援していく																			

【様式①】「東区ささえあいプラン」アクションプラン推進状況

課名 福祉課、 保健子ども課、 まちづくりセンター、 ささえあい、 障がい者相談支援センター、 自治協等地域組織、ボランティア	整理番号 1-1-6	主な取組：みなし仮設入居者交流会													
事業概要	被災者同士や地域住民との交流、および地域行事や支援制度などの情報提供														
目標	交流を通じて、地域でのつながりを深める。														
H29年度 事業実績	まちづくりセンター管轄校区ごとに3回の交流会開催 参加者 仮設入居者 113人 地域役員 28人 ボランティア等 38人 内容 ・手作りフォトフレーム作成、おやつ作り、ボール体操 他 ・生活再建の情報説明及び個別相談会 ※開催後のアンケートで、参加者の90%が交流及び内容に満足された。														
課題	仮設住宅入居により、新たな地域での生活を余儀なくされた方もおり、地域とのつながりが希薄になりやすい。 被災者同士の情報交換の場がなく、取り残され感を抱きやすい。 仮設入居世帯数(H30.12月31日現在 東区:1,311世帯、2,938人 市:4,978世帯、10,768人)														
今後の展開・方針	被災者が 地域になじみ安心して暮らせるよう、みなし仮設入居者交流会を通じて、被災者同士、地域役員との交流の機会とする。さらには地域で開催されている既存の行事などへつなげる。 また、個別相談コーナーを併設することにより、被災者の住まい再建の不安を解消する。														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>...</th> <th>H35</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○現事業の継続 ○既存事業へのつなぎ</td> <td>○既存事業へのつなぎ</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					H30	H31	H32	...	H35	○現事業の継続 ○既存事業へのつなぎ	○既存事業へのつなぎ			
H30	H31	H32	...	H35											
○現事業の継続 ○既存事業へのつなぎ	○既存事業へのつなぎ														
	【平成30年度到達目標】 交流会を2回実施する。														
平成30年度の実施状況 (12月末現在)	東部公民館10月2日(火)開催 参加者33名(内訳:被災者:19組20名、民生委員:6名、地域ボランティア:7名)、交流会同窓会11月4日(日)開催 参加者4名 託麻公民館11月29日(木)開催 参加者35名(内訳:被災者:19組21名、民生委員:6名、地域ボランティア:8名)、託麻公民館で毎月開催されているつながるカフェ 12月18日(火)に仮設から2名参加														
2019年度 事業展開方針	地域団体の協力を得ながら、仮設住宅入居者と退去者を対象とした交流会の実施 仮設入居世帯状況に応じ、開催回数や場所を検討														

【様式①】 「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課名 福祉課、 まちづくりセンター、 総務企画課、保健子ども課、 ささえあい、 障がい者相談支援センター、 市社協東区事務所	整理番号 1-2-1	主な取組: まちづくり活動表彰(仮称)										
事業概要	「自助・共助」「主体性」「自立支援」「組織・世代横断的」などの要素を含む、 先駆的な取り組みについて発表および表彰を通じ区全体への波及を図る。											
目 標	住民主体のまちづくりを推進する。 東区の地域包括ケアシステム構築に関する取り組みの認知度の向上。											
H29年度 事業実績	(新規事業)											
課題	どのような視点で選考するのか、どのような形での開催とするのか(区単位、まちづくりセンター単位)等、実施にあたっての具体的な検討ができていない。											
今後の展開・方針	H31年度の実施をめざして、東区地域包括ケアシステム推進ワーキング会議にて検討を進める。 東区の地域包括ケアシステム構築に関する取り組みの認知度が向上することにより、住民主体のまちづくりを推進する。 【スケジュール】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th><th>...</th><th>H35</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○制度設計</td><td>○表彰を実施 ○広報</td><td>○評価 ○方針の見直し</td><td>⇒</td><td>○評価 ○方針の見直し</td></tr> </tbody> </table> 【平成30年度到達目標】 選考の基準や実施方法を決定する。		H30	H31	H32	...	H35	○制度設計	○表彰を実施 ○広報	○評価 ○方針の見直し	⇒	○評価 ○方針の見直し
H30	H31	H32	...	H35								
○制度設計	○表彰を実施 ○広報	○評価 ○方針の見直し	⇒	○評価 ○方針の見直し								
平成30年度の実行状況 (12月末現在)	地域包括ケアシステム推進ワーキング会議にて、選考の基準や実施方法を検討中。											
2019年度 事業展開方針	2020年3月を目処に、 ・制度設計(表彰基準、審査員選定、協賛企業の募集等) ・表彰制度の周知活動 ・研修会の開催 等を進める											

【様式①】 「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課名 ささえあい、福祉課、 まちづくりセンター、 保健子ども課、 自治協等地域組織、 ボランティア、 市社協東区事務所、専門職	整理番号 1-2-2	主な取組： 多種多様な通いの場づくりの推進										
事業概要	高齢者サロンや元気くらぶ、地域の縁がわ、認知症カフェ、公民館講座やご近所の茶飲み会等、集いの場づくりを推進する。											
目 標	社会参加が心身の機能低下を防ぎ、いきがいにつながることを理解し、地域活動への参加や、通いの場立ち上げの取り組みが活発になる。											
H29年度 事業実績	高齢者サロン：115(H28年度) 元気くらぶ：4(H30年2月末) 地域の縁がわ：38(H29年9月末) 認知症カフェ：8(H30年2月末)											
課題	多様なニーズに対応する、さまざまな形態の通いの場が必要だが、趣味や地域独自の取組等、行政が関与していない団体の実態把握が難しい。また一覧化するためには外部からの参加受け入れの可否等、意向確認が必要であり、時間を要する。											
今後の展開・方針	実態把握を通じ、通いの場の周知・活用、通いの場が不足している地域の把握等を進める。社会参加が心身の機能低下を防ぎ、生きがいにつながることにについて啓発を行い、地域活動への参加促進、通いの場の立ち上げ支援等更なる推進を図る。 【スケジュール】 <table><tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td><td>...</td><td>H35</td></tr><tr><td>○推進方法の検討</td><td>⇒</td><td>○評価 ○方針の見直し</td><td>⇒</td><td>○評価 ○方針の見直し</td></tr></table> 【平成30年度到達目標】 まちづくり担当者会議等を活用し、自治会等との連携による実態把握に向けた取り組みの検討を進める。元気くらぶ活動数：9		H30	H31	H32	...	H35	○推進方法の検討	⇒	○評価 ○方針の見直し	⇒	○評価 ○方針の見直し
H30	H31	H32	...	H35								
○推進方法の検討	⇒	○評価 ○方針の見直し	⇒	○評価 ○方針の見直し								
平成30年度 取組状況 (12月末現在)	元気くらぶは11団体、認知症カフェは9か所で開催中。 また、サロン等までの移動を支援する取組を3地区(託麻北、託麻南、山ノ内)にてモデル的に開始する予定。											
2019年度 事業展開方針	まちづくり担当者会議等を活用し、実態把握を進める。 通いの場の立ち上げだけでなく、移動支援の必要性等、社会参加を阻む課題について、まちづくり担当者間で共有しながら各地域の取組を支援する。 また通いの場や移動支援等地域の取組を紹介するリーフレット等の作成・配布を検討。広報することにより、社会参加の促進、場の活性化とともに共助の取組が他地域に広がることをめざす。											

【様式①】

「東区ささえあいプラン」アクションプラン推進状況

課名	ささえりあ、福祉課、 専門職、 障がい者相談支援センター	整理番号	1-2-3 2-1-2(再掲)	主な取組	自立支援型地域ケア個別会議										
事業概要	自立支援に資するケアマネジメント力向上を目指し、多職種で協議する。														
目 標	ケアマネジメント力の向上をめざす。 健康レベルに応じた自立支援の視点の共有。														
H29年度 事業実績	ささえりあ(1か所)でH29年7月から月1回、1事例の検討を実施。														
課題	介護保険制度に関して、サービスありきの認識が強い。専門職間の自立支援の視点の共有を図ると同時に、医療と介護の連携、住民向けの自立意識の啓発強化が急務であり、市全体での取り組みが必要。														
今後の展開・方針	専門職向け研修会の開催や、会議運営等の後方支援を行う。 また、住民に対する啓発は高齢介護福祉課と連携しながら進める。 【スケジュール】 <table><tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td><td>...</td><td>H35</td></tr><tr><td>○ささえりあ圏域毎に年6回開催 ○課題整理</td><td>○ささえりあ圏域毎に年12回開催</td><td>○評価 ○方針の見直し</td><td>⇒</td><td>○評価 ○方針の見直し</td></tr></table> 【平成30年度到達目標】 研修会や会議運営の後方支援を行い、継続実施に向けた課題を整理する。 住民向けの啓発について高齢介護福祉課と協議する。					H30	H31	H32	...	H35	○ささえりあ圏域毎に年6回開催 ○課題整理	○ささえりあ圏域毎に年12回開催	○評価 ○方針の見直し	⇒	○評価 ○方針の見直し
H30	H31	H32	...	H35											
○ささえりあ圏域毎に年6回開催 ○課題整理	○ささえりあ圏域毎に年12回開催	○評価 ○方針の見直し	⇒	○評価 ○方針の見直し											
平成30年度の取組状況 (12月末現在)	ささえりあ圏域毎に計26回(12月末現在)開催。 主任ケアマネの会地域ケア会議推進部会では9月に助言者(各種専門職)向けの研修会を実施した。 また事業所連絡会等から、チラシ等を活用した住民向けの啓発(申請、契約、プラン変更時に伝える)について提案、要望があっている。														
2019年度 事業展開方針	アセスメント力の向上に向けた専門職向けの研修実施を支援する。(P23「2-1-1 専門職研修、連携強化」と連動) 住民向けの自立意識の啓発については、各ささえりあや主任ケアマネの会、事業所連絡会等から意見を聴取し、必要な後方支援を行う(1層への提言を含む)。														

【様式①】

「東区ささえあいプラン」アクションプラン推進状況

課名 保健子ども課、 まちづくりセンター、福祉課、 ささえあい、市社協東区事務所、 障がい者相談支援センター	整理番号 1-3-1-1 3-1-1(再掲)	主な取組 健康まちづくり推進員養成 および 健康まちづくり推進員活動支援										
事業概要	平成25年度健康まちづくり養成講座を開始し、平成27年度健康まちづくり推進協議会を設立。より多くの東区住民が自分らしく健康でいられるために活動を行う。 まちづくりの担い手として、認知症、介護予防、健康まちづくり、食生活改善、8020推進等のボランティアを養成する。											
目 標	健康を幅広くとらえる視点を持ち、地域の人や活動をつなぎ、関係機関、地区組織等と協働して東区の健康まちづくりを進める。											
H29年度 事業実績	○東区健康まちづくり推進員養成事業 ・健康まちづくり推進員養成講座実施(全8回) 修了者21名(協議会加入者16名) ○東区健康まちづくり推進員活動支援事業 ・健康まちづくり推進員協議会活動支援(定例会5回、打ち合わせ会10回) ・スキルアップ研修(3回) ・校区イベント等における健康づくり活動の企画・実施(延120回、延473人) ・先進地(明石市の健康ソムリエ)活動視察											
課題	・健康まちづくり推進員について地域内での認知が低く、活動の場が広がらない。 ・健康まちづくり推進員が自信を持って地域で活動できるようスキルアップを図る必要がある。 ・推進員が達成感、充実感を持って活動できるような支援が必要である。(到達目標の設定)											
今後の展開・方針	・活動の場の拡大を図る。 ・活動内容の充実と推進員のスキルアップを図る。 ・他のボランティアと連動した活動を推進する。 【スケジュール】 <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <tr> <td>H30</td> <td>H31</td> <td>H32</td> <td>...</td> <td>H35</td> </tr> <tr> <td>○目標の共有 ○活動を継続</td> <td>○適宜、評価</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">→</td> </tr> </table> 【平成30年度到達目標】 ・養成講座参加中の15名全員が講座を修了することができる。 ・推進員がタオル体操をマスターし地域活動の中で実践することができる。 ・区民まつりの中で3ボランティアが連携し活動できる。		H30	H31	H32	...	H35	○目標の共有 ○活動を継続	○適宜、評価	→		
H30	H31	H32	...	H35								
○目標の共有 ○活動を継続	○適宜、評価	→										
平成30年度取組状況 (12月末現在)	○東区健康まちづくり推進員養成事業 ・健康まちづくり推進員養成講座実施(H30.7月～H31.2月) 全8回 参加実人員15名 ○東区健康まちづくり推進員活動支援事業 ・健康まちづくり推進員協議会活動支援(定例会5回、打ち合わせ会7回) ・校区イベント等における健康づくり活動の企画・実施(随時実施中) ○3ボランティア連携による健康ブースで糖尿病予防啓発を実施(9/23) ※健康づくりボランティア3団体の交流会については、「ボランティア交流会」に記載。											
2019年度 事業展開方針	1.健康まちづくり推進員養成講座を継続し、東区18校区に活動できる推進員を養成する。 2.健康まちづくり推進員協議会の自主運営を支援する。また、スキルアップ研修等の実施により活動内容のレベルアップを図り、地域活動とのつながり強化する。 3.食生活改善推進員や8020推進員、ボランティア医師・歯科医師の会(とんぼの会)等、健康づくりに関わるボランティア組織との連携を支援し、東区民まつり等の地域活動の企画・運営を支援する											

【様式①】 「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課名 保健子ども課	整理番号: 1-3-1-2-1 1-3-1-2-2 3-1-1(再掲)	主な取組: 食生活改善推進養成講座 食生活改善推進員研修										
事業概要	食生活を中心とした健康づくり活動を行う食生活改善推進員を養成する。 食生活改善推進員を対象に、健康づくり活動をより効果的に実施するための研修等を実施する。											
目 標	食生活を中心とした健康づくりに関する知識を習得し、地域活動に結びつく仲間づくりをする。 さまざまな機関・団体と連携した健康づくり活動を実施する。											
H29年度 事業実績	・食生活改善推進員養成講座実施 講座6回コース 修了者 15名 ・修了証書交付式及び研修会 修了者 4名参加 ・食生活改善推進員協議会 東支部会員数 124人 ・食生活改善推進員支部研修会 回数 11回、参加者数 487人 ・全体研修会(健康づくり推進課実施) 回数 2回、参加者数 46人											
課題	・食生活改善推進員の地域での活用を推進してまちづくりを活性化するために、推進員の活動内容等の認知度を高める必要がある。 ・活動可能な食生活改善推進員が限られている。											
今後の展開・方針	・受講生が募集定員に満たないため、受講生を増やす取り組みとして、食生活改善推進員の活動の周知・広報を行う。 ・食生活を中心に健康づくりに関する知識を習得し、継続した地域活動の実践に結びつく魅力ある内容の研修を行う。 ・達成感を得られるような活動に向けた支援を行う。 【スケジュール】 <table><tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th><th>...</th><th>H35</th></tr><tr><td>○現事業の継続 ○評価</td><td colspan="4"></td></tr></table> 【平成30年度到達目標】 ・食生活改善推進員の会員数を維持する。 ・区民まつりのなかで、健康づくりボランティア3団体が連携して活動できる。		H30	H31	H32	...	H35	○現事業の継続 ○評価				
H30	H31	H32	...	H35								
○現事業の継続 ○評価												
平成30年度の取組状況 (12月末現在)	・食生活改善推進員養成講座実施 講座6回コース 受講者 12名(11月に5回目終了) ・食生活改善推進員協議会 東支部会員数 131人 ・食生活改善推進員支部研修会 回数(予定) 11回、参加者数 360人(12月末現在) ・全体研修会(健康づくり推進課実施) 回数(予定) 2回、参加者数 34人 ・区民まつりのなかで、健康づくりボランティア3団体が連携して活動した。 ※健康づくりボランティア3団体の意見交流会については、「ボランティア交流会」に記載。											
2019年度 事業展開方針	・食生活改善推進員を養成し、地域で健康づくりを推進する人材を育成する。 ・食生活改善推進員への研修や相談等を通じて、地域での活動を継続して支援する。											

【様式①】 「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課名 保健子ども課、 保育園	1-3-1-3-1 整理番号: 1-3-1-3-2 3-1-1(再掲)	主な取組: 8020推進員育成事業 8020推進員地域活動支援事業										
事業概要	・18歳以上で歯科保健推進の地域活動ができるボランティアを育成する。 ・8020推進員に対して、熊本市8020健康づくりの会東支部連絡会や研修会等を通して、地域での活動がスムーズに行われるよう支援する。											
目 標	・地域で8020推進員となって継続した歯科保健に関する啓発活動ができる人材の育成を行う。 ・地域の小学校等の関係機関と連携し、地域活動の場や対象を広げる。 ・地域で活動を継続するための仲間づくりや組織の充実を図る。											
H29年度 事業実績	○8020推進員育成事業 ・8020推進員育成講座(全4回)⇒修了者3名 ○8020推進員地域活動支援事業 ・東支部定例会・東支部役員会・研修会等の活動支援 ⇒定例会6回、役員会8回、研修会2回、その他2回 ・子育てサークル、高齢者サロン、地域イベント等での活動支援 ⇒活動数69回、活動推進員数 延159人、啓発対象者数 延3,409人 ・西原小フッ化物洗口事業 ⇒活動数30回、活動推進員数 延159人、実施延児童数9,430人											
課題	・8020推進員がいない校区があり、養成講座受講生を増やしていく必要がある。 ・活動する会員が固定されている。											
今後の展開・方針	・全18校区に8020推進員が在籍できるよう、8020推進員がいない校区を中心に養成講座の募集を働きかける。 ・具体的な活動内容について会員に知らせる研修会を開催し、活動できる会員を増やす。 【スケジュール】 <table><tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td><td>...</td><td>H35</td></tr><tr><td>○現事業の継続 ○評価</td><td colspan="4"></td></tr></table> 【平成30年度到達目標】 ・推進員が0名または1名の校区(秋津、健軍東、託麻南、泉ヶ丘、若葉、山ノ内)において、推進員を複数名育成する。 ・推進員が活動に活かせる研修会を開催する。 ・区民まつりのなかで、健康づくりボランティア3団体が連携して活動できる。		H30	H31	H32	...	H35	○現事業の継続 ○評価				
H30	H31	H32	...	H35								
○現事業の継続 ○評価												
平成30年度の実施状況 (12月末現在)	○8020推進員育成事業 ・8020推進員育成講座(全4回)を実施⇒9名受講(8名修了予定) ○8020推進員地域活動支援事業 ・東支部定例会・東支部役員会・研修会の活動支援 ⇒定例会4回、役員会6回、研修会1回、その他会議等9回 ・子育てサークル、高齢者サロン、地域イベント等での活動支援 ⇒活動数54回、活動推進員数 延147人、啓発対象者数 延4,046人 ・小学校フッ化物洗口事業(西原・泉ヶ丘・健軍東・若葉) ⇒活動数35回、活動推進員数 延135人、実施延児童数8,059人 ・区民まつりのなかで、健康づくりボランティア3団体が連携して活動した。 ※健康づくりボランティア3団体の意見交流会については、「ボランティア交流会」に記載。											
2019年度 事業展開方針	引き続き、推進員が0名または1名の校区(秋津、健軍東、託麻南、山ノ内)において、推進員を複数名育成する。											

【様式①】「東区ささえあいプラン」アクションプラン推進状況

課名 福祉課、 まちづくりセンター 保健子ども課、ささえあい 市社協東区事務所、 障がい者相談支援センター	1-3-1-4 (3-1-1、4-1-1-2再掲) 整理番号: 4-1-2 4-1-4 4-4-1	認知症サポートリーダー養成講座 認知症徘徊模擬訓練実施支援 認知症シンポジウム 認知症サポートブック作成・配布										
事業概要	○サポートリーダー養成講座…認知症サポーターを対象に、当事者の視点を重視した啓発活動や、ボランティア活動が実践できる人材を養成する。 ○徘徊模擬訓練実施支援…模擬訓練実行委員会の立ち上げや、事前研修会の開催を支援する。 ○シンポジウム…講演および認知症の当事者や家族、地域住民、専門職との協働によるシンポジウムを共同開催する。 ○サポートブック作成・配布…認知症カフェや相談窓口等を紹介するパンフレットの作成・配布を行う。											
目標	○本人や家族に寄り添いサポートできる人材が増え、住みなれた地域で安心して生活ができる環境をめざす。 ○認知症に対する理解を深め、認知症を特別視しない意識の定着をめざす。 ○相談窓口の周知、当事者や家族の不安の軽減、認知症の理解浸透をめざす。											
H29年度 事業実績	・認知症サポートリーダー養成講座実施 6回連続講座、25名のリーダーを養成 ・認知症徘徊声かけ訓練 長嶺校区 200名参加 託麻西校区2・5町内 110名参加											
課題	○サポートリーダー養成講座…養成後、地域活動につがっていない(何をしてもいいかわからない、自信がない) ○徘徊模擬訓練実施支援…校区単位での実施が難しい地域がある、参加者の固定化 ○シンポジウム…行政主導での開催 ○サポートブック作成・配布…当事者や家族の視点の不足、設置場所が限定している											
今後の展開・方針	○サポートリーダー養成講座…講座の継続開催。修了生の交流と組織化、およびスキルアップに向けた学習(実践)の機会を支援し、地域活動の推進に努める。 ○声かけ訓練(呼称変更)…地域の状況に応じた開催形態の検討(少人数グループでの実施等)。世代の広がりを図る取組と事業所との連携の推進。 ○シンポジウム…当事者と家族の視点を踏まえたものをささえあいや事業所、認知症サポートリーダーなどとともに企画・運営し、一般市民への理解の浸透をめざす。 ○サポートブック作成…当事者や家族の会等からの意見聴取し、定期的に内容を更新し増刷する。新たな設置場所について検討する。 【スケジュール】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th><th>...</th><th>H35</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○登録・活動支援を試行</td><td>○評価、事業見直し</td><td>○評価 ○方針の見直し</td><td>⇒</td><td>○評価 ○方針の見直し</td></tr> </tbody> </table> 【平成30年度到達目標】 ○サポートリーダー養成講座…実践の機会の支援、および課題整理を行う ○声かけ訓練…地域の状況に応じた開催、新規3団体をめざす ○シンポジウムの開催 ○サポートブックの作成		H30	H31	H32	...	H35	○登録・活動支援を試行	○評価、事業見直し	○評価 ○方針の見直し	⇒	○評価 ○方針の見直し
H30	H31	H32	...	H35								
○登録・活動支援を試行	○評価、事業見直し	○評価 ○方針の見直し	⇒	○評価 ○方針の見直し								
平成30年度の実績状況 (12月末現在)	・認知症サポートリーダー養成講座実施 5回連続講座(+施設等体験実習1回) 参加50名 ・声かけ訓練 長嶺校区(11/25)、託麻西校区3・4町内(10/21)、尾ノ上校区(11/11)で実施 泉ヶ丘3町内(2/17)、画図校区民児協(3/19)で実施予定 託麻北校区では実施に向け研修会を開催(12/15) ・認知症サポートブック作成(1,500部)、配布											
2019年度 事業展開方針	ささえあいや事業所、認知症サポートリーダーとともに、養成講座やシンポジウムの内容を検討する。 声かけ訓練の継続、新規実施に向けた後方支援を継続。 サポートブック改訂の際は、認知症の方やその家族等からの意見聴取も検討する。											

【様式①】 「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課名	福祉課、 まちづくりセンター 保健子ども課、ささえりあ 市社協東区事務所、 障がい者相談支援センター	整理番号 1-3-1-5 3-1-1(再掲)	主な取組: 介護予防サポーター養成講座										
事業概要	高齢者の特性や介護予防活動に必要な知識とスキルをもつ人材の育成と、継続的な活動のための支援を行う。												
目 標	地域ニーズに応じた健康づくりや介護予防活動の活性化と、通いの場づくりの推進。												
H29年度 事業実績	平成29年度は24名養成(5区中最多)。前年度までの終了生、およびサロン支援者の実践研修を兼ねた交流会を2回開催。サポーター同士のネットワークづくりとスキルアップの機会とした。												
課題	サポーターの活躍の場の拡充。												
今後の展開・方針	養成と活動の場の拡充については今後も介護予防の会で検討を進め、その内容はサポーター募集や修了生の交流会に反映し、サポーターの地域活動の推進をめざす。 【スケジュール】 <table><tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td><td>...</td><td>H35</td></tr><tr><td>○現事業の継続 ○評価</td><td>○評価、 事業見直し</td><td>○評価 ○方針の見直し</td><td>⇒</td><td>○評価 ○方針の見直し</td></tr></table> 【平成30年度到達目標】 介護予防の会での検討内容を反映。また、推進方針1-3-3ボランティア活動体制整備と連動しながら、地域活動の推進をめざす。			H30	H31	H32	...	H35	○現事業の継続 ○評価	○評価、 事業見直し	○評価 ○方針の見直し	⇒	○評価 ○方針の見直し
H30	H31	H32	...	H35									
○現事業の継続 ○評価	○評価、 事業見直し	○評価 ○方針の見直し	⇒	○評価 ○方針の見直し									
平成30年度取組状況 (12月末現在)	くまもと元気クラブの測定の際のサポートスタッフとして、各団体の希望に応じて紹介。 サポーターの活躍の場の拡充と、講座終了後に活動をしていない潜在サポーターに対する働きかけについて、ささえりあ保健師と地域リハビリテーション広域支援センターで構成する「介護予防の会」で検討中。潜在サポーターが活動を始めるための一歩が出せるようなきっかけやネットワークづくりを目的とした介護予防サポーター交流会を開催(10/19)。また活動するためのスキルアップ研修会を開催予定(2/15)。												
2019年度 事業展開方針	交流会や研修会等でのサポーターの意見をもとに、高齢者サロン等に活動を紹介する。サポーター活動の内容をまとめたり紹介したりするためのツールの作成を含めてサポーターとともに検討する												

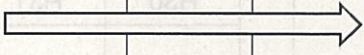
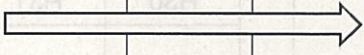
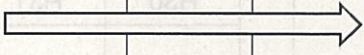
【様式①】 「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課名	保健子ども課、福祉課、まちづくりセンター、市社協東区事務所、ささえあい、障がい者相談支援センター	整理番号:1-3-2	主な取組: ボランティア交流会										
事業概要	各ボランティアが一堂に会し、情報共有や活動の場の拡大について検討する。												
目 標	ボランティアの相互協力、連携を通し実践活動の拡大を図る。												
H29年度 事業実績	・健康づくりボランティア連携会議(H30.3.29実施) 食生活改善推進員協議会東支部長、8020健康づくりの会東支部長、東区健康まちづくり推進員協議会の役員と保健子ども課職員により今後の組織活動の方向性について協議												
課題	・保健子ども課の食生活改善推進員、8020推進員、健康まちづくり推進員の3ボランティア同士の交流も始まったばかりであり、他課が養成するボランティアとの交流はないため、区のボランティアとして連帯感をもって連携した活動ができるようになるまで、支援の強化が必要である。												
今後の展開・方針	・ボランティア交流会の定例化 ・保健子ども課ボランティア以外のボランティア(介護予防サポーター、認知症サポートリーダー、防犯、交通のボランティア等)との交流拡大 ・ボランティアグループの協働による地域活動の実施 ・校区ごとのボランティアのグループ化 【スケジュール】 <table><tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td><td>...</td><td>H35</td></tr><tr><td>○各種団体と実施に向け検討</td><td>実施</td><td>○評価 ○方針の見直し</td><td>⇒</td><td>○評価 ○方針の見直し</td></tr></table> 【平成30年度到達目標】 ・9月 東区民まつりに向けて保健子ども課に係るボランティア3者による交流会を開催する。 ・1月 まちづくりシンポジウムに様々なボランティアに参加してもらう。 ・2月 保健子ども課に係る以外のボランティアを含めた交流会を開催する。			H30	H31	H32	...	H35	○各種団体と実施に向け検討	実施	○評価 ○方針の見直し	⇒	○評価 ○方針の見直し
H30	H31	H32	...	H35									
○各種団体と実施に向け検討	実施	○評価 ○方針の見直し	⇒	○評価 ○方針の見直し									
平成30年度の実施状況 (12月末現在)	・3ボランティア連携による健康ブースで糖尿病予防啓発を実施(9/23区民まつり) ・健康づくりボランティア連携会議 2回実施予定 (1回目)平成30年9月6日 東区民まつりにおける健康ブース活動時の連携について 協議。 (2回目)平成31年3月15日 健康づくりボランティア交流会で、来年度以降のボランティア交流会に向けての意見交換を行う。 ・平成31年1月20日 ボランティア交流会実施、120人参加。												
2019年度 事業展開方針	東区で活動するボランティア組織、または個人を『東区ボランティアの会(仮)』として登録制とし、連帯感のある会になるよう支援するために、ボランティア交流会を年2回程度(研修会1回、情報交換会1回)開催する。												

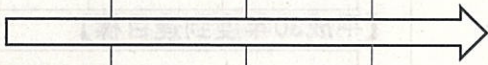
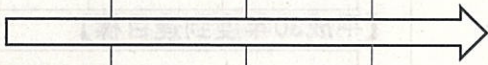
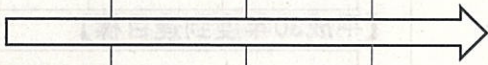
【様式①】 「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課名 福祉課、保健子ども課、 まちづくりセンター、 市社協東区事務所、ささえあい、 障がい者相談支援センター	整理番号 1-3-3 3-1-2(再掲)	主な取組：ボランティア活動体制整備										
事業概要	養成の推進や登録制度の整備、各ボランティア組織間の連携強化、地域に根ざした活動の仕組みづくり等について検討する。											
目 標	区全体あるいは校区単位でボランティアグループが組織され、地域での健康づくり活動や見守り、生活支援が充実する。											
H29年度 事業実績	(H30年度 新規事業)											
課題	行政が養成したボランティアは行政の事業に関連する活動が主で、地域活動に結びついていない。 また地域独自の取組や団体の把握ができていない。											
今後の展開・方針	地域での健康づくり活動や見守り、生活支援の充実をめざし、ワーキングのボランティア部会を中心に、活動の場の広がりや若い世代の取り込み、ボランティア交流会の開催等について検討を進める。 【スケジュール】 <table><tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td><td>...</td><td>H35</td></tr><tr><td>○登録・活動の仕組みの検討 ○活動実践</td><td>○見直し ○協議会設置に向けた検討</td><td>○健康ボランティア連絡協議会(仮称)の設置 ○活動方針の策定 ○評価 ○方針の見直し</td><td>○会議の定期開催 ○活動評価</td><td>○会議の定期開催 ○活動評価 ○方針の見直し</td></tr></table> 【平成30年度到達目標】 ワーキング会議にて地域独自の取組や団体の把握、マッチング、組織間の連携強化、周知・人材発掘の推進について検討を進める。		H30	H31	H32	...	H35	○登録・活動の仕組みの検討 ○活動実践	○見直し ○協議会設置に向けた検討	○健康ボランティア連絡協議会(仮称)の設置 ○活動方針の策定 ○評価 ○方針の見直し	○会議の定期開催 ○活動評価	○会議の定期開催 ○活動評価 ○方針の見直し
H30	H31	H32	...	H35								
○登録・活動の仕組みの検討 ○活動実践	○見直し ○協議会設置に向けた検討	○健康ボランティア連絡協議会(仮称)の設置 ○活動方針の策定 ○評価 ○方針の見直し	○会議の定期開催 ○活動評価	○会議の定期開催 ○活動評価 ○方針の見直し								
平成30年度の実施状況 (12月末現在)	H31年1月にボランティア交流会を開催。組織化ができていない介護予防サポーターについては年2回の交流会を開催し、組織化に向け働きかけを行っている。											
2019年度 事業展開方針	引き続きワーキング会議ボランティア部会にて、現状の把握、地域に根ざした活動の仕組みづくり等について協議する。また東部まちづくりセンターでは、サロンの運営者と活動を希望する人とのマッチングイベントを検討。											

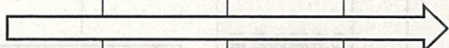
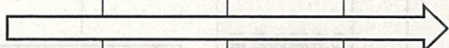
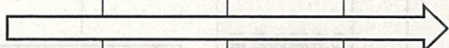
【様式①】 「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課名	総務企画課、まちづくりセンター、福祉課、保健子ども課、市社協東区事務所、自治協等地域組織、障がい者相談支援センター、各地域コミュニティセンター、市立小・中学校、県立大学・高校・特別支援学校	整理番号	1-4-1	主な取組	校区防災連絡会・避難所運営委員会										
事業概要	本市地域防災計画(H29.5月改定)において、避難所等は地域主体で運営することとなったが、その運営母体となる校区防災連絡会及び避難所運営委員会を設立し、地域防災力向上を図る。														
目 標	平成30年度内に、東区内18校区全てにおいて校区防災連絡会を立ち上げる。														
H29年度 事業実績	1 校区防災連絡会 4/18校区設置済み (若葉・東町・桜木・健軍) 2 避難所運営委員会 4/36箇所設置済み (若葉小・東町小・健軍小・湖東中)														
課題	現状として、自主防災クラブ員と自治会員を兼務している等、地域の役職を兼務している住民が多く、地域の担い手不足が課題である。														
今後の展開・方針	自主防災クラブ員と自治会員を兼務している等、地域の役職を兼務している住民が多いため、貴重な社会資源である既存の自主防災クラブと新たに作る校区防災連絡会・避難所運営委員会との関係を丁寧に説明し、地元住民の理解を得ながら設置する。 校区防災連絡会の全校区設置・避難所運営委員会の全箇所設置に向け、今後も積極的に取り組んでいく。 【スケジュール】 <table><tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td><td>...</td><td>H35</td></tr><tr><td>○18校区全て、連絡会・委員会を設立</td><td>適宜、会議実施</td><td colspan="3"></td></tr></table> 【平成30年度到達目標】 校区防災連絡会の全校区設置(未設置7校区)					H30	H31	H32	...	H35	○18校区全て、連絡会・委員会を設立	適宜、会議実施			
H30	H31	H32	...	H35											
○18校区全て、連絡会・委員会を設立	適宜、会議実施														
平成30年度の取組状況 (12月末現在)	【平成30年度の取組状況】 ※H31.1.21現在 1 校区防災連絡会 11/18校区設置済み (若葉・東町・桜木・健軍・西原・秋津・画図・託麻南・健軍東・託麻東・泉ヶ丘) 2 避難所運営委員会 11/36箇所設置済み (若葉小・東町小・健軍小・湖東中・画図小・環境総合センター・秋津公民館・秋津小学校・東野中学校・健軍東小学校・東町中学校) 校区防災連絡会は、今年度内の全校区設置に取り組む。 避難所運営委員会においても、未設置の避難所に対して積極的に取り組む。														
2019年度 事業展開方針	校区防災連絡会の全校区設置に伴い、区民参加型の防災会議(仮称)を設置する取り組みを行い、更なる地域の防災力の向上を図る。														

【様式①】 「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

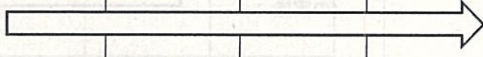
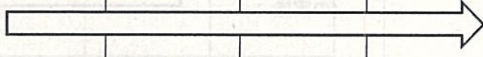
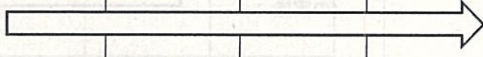
課名 総務企画課、 東消防署、自治協等地域組織	整理番号 1-4-2	主な取組： 地域防災合同訓練										
事業概要	地域住民が主体となり区対策部や消防署等との連携により、各校区単位で防災訓練を実施する。											
目 標	大規模震災等に備え、地域の防災力強化を図る。											
H29年度 事業実績	突発的かつ大規模な災害(震度6弱以上の地震等)が発生したとの想定で、校区全体で訓練を計画し、地域と行政(東区役所・東消防署)が合同で訓練を行なった。 校区防災訓練を8校区実施。											
課題	今まで実施された訓練において、地域住民の防災意識の高揚等に一定の効果はあったものの、熊本地震を経験したことにより、避難所運営等を含めた実践に即した訓練内容の見直しが必要である。											
今後の展開・方針	校区防災訓練を隔年毎に実施しながら、東区としては1年に9校区ずつ実施し2ヵ年で18校区実施する。 また、校区防災訓練を実施しない年は、町内単位の訓練を地元で企画・立案・運営し、更に地域防災力の向上を図る。 今後も、地域防災力向上と安全で安心なまちづくりの実現に向け、今後も積極的に取り組んでいく。 【スケジュール】 <table><tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td><td>...</td><td>H35</td></tr><tr><td>○各校区で訓練実施</td><td colspan="4"></td></tr></table> 【平成30年度到達目標】 校区防災訓練の9校区(全校区1/2)実施		H30	H31	H32	...	H35	○各校区で訓練実施				
H30	H31	H32	...	H35								
○各校区で訓練実施												
平成30年度の取組状況 (12月末現在)	校区防災訓練を4校区(若葉・尾ノ上・健軍・東町)実施。※今年度は5校区実施予定 未実施校区においても、新たに策定された本市の地域防災計画に基づき、大規模災害にも円滑に対応できるよう防災訓練を実施予定。											
2019年度 事業展開方針	校区防災訓練の9校区(全校区1/2)実施。											

【様式①】 「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課名	総務企画課、まちづくりセンター、福祉課、保健子ども課、市社協東区事務所、自治協等地域組織、障がい者相談支援センター、特別支援学校	整理番号	1-4-3	主な取組:	福祉避難所および福祉子ども避難所の周知と設置・運営訓練										
事業概要	住民への周知とともに、訓練をととして当事者、地域組織、関係機関の連携強化を図る。														
目 標	福祉避難所の認知度の向上とスムーズな設置・運営のための連携体制の強化。														
H29年度 事業実績	H29.4.16震災対処実動訓練において、地域と行政（東区役所・健康福祉局）が連携し、尾ノ上校区で実施。														
課題	東区は2校区（尾ノ上、若葉）で福祉避難所連携を実施し一定の効果はあったものの、未実施の校区については住民への広報や周知が徹底されていない。														
今後の展開・方針	各種会合や会議の場を利用し、自治協議会構成団体等に福祉避難所および福祉子ども避難所の趣旨と訓練の必要性を説明する。 要配慮者にも優しい避難所づくり・避難所運営のため、今後も積極的に取り組んでいく。 【スケジュール】 <table><tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td><td>...</td><td>H35</td></tr><tr><td>○広報・訓練の実施</td><td colspan="4"></td></tr></table> 【平成30年度到達目標】 全校区に周知し校区防災訓練で福祉避難所連携訓練を実施					H30	H31	H32	...	H35	○広報・訓練の実施				
H30	H31	H32	...	H35											
○広報・訓練の実施															
平成30年度の取組状況 （12月末現在）	H30.4.15震災対処実動訓練において、地域、福祉避難所（ハーモニー）・福祉子ども避難所（県立盲学校）、行政（東区役所・健康福祉局）が連携し、若葉校区で実施。 同訓練は、障がい者団体等と連携し、実施した。														
2019年度 事業展開方針	福祉子ども避難所（ろう学校・盲学校）の設置に伴い、H31.4.20震災対処実動訓練において、福祉避難所連携訓練を東区の住民参加型校区（秋津校区）で実施予定。														

【様式①】

「東区ささえあいプラン」アクションプラン推進状況

課名 総務企画課 福祉課、 保健子ども課、保護課、 まちづくりセンター、 ささえあい、 障がい者相談支援センター、 社会福祉協議会	整理番号 1-4-4	主な取組：東区被災者支援推進会議										
事業概要	熊本地震の被災者が地域で安心して暮らせるよう、被災者の抱える課題の解決に向け、東区が一体となって取り組む。											
目 標	被災者の孤立防止などに向け、検討を行う。											
H29年度 事業実績	(新規事業)											
課題	恒久的住まいへの転居後は、被災者としての支援の対象からはずれ、情報が届きにくくなることでの不安や、新しい住宅や周囲との環境になじめないなど孤立する者がでてくる可能性がある。 災害公営住宅をはじめとする新たな居住先での地域コミュニティの再構築の課題。											
今後の展開・方針	被災者の恒久的な住まいの移行支援だけでなく、恒久的住まいに移行後も、まちづくり事業や保健福祉事業、地域組織活動による支援(地域包括ケアシステム)により、それぞれの地域において「おたがいさま」の心で支え合い、地域で安心して豊かに暮らし続けることのできるよう、東区が一体となった支援を行う。 【スケジュール】 <table><tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td><td>...</td><td>H35</td></tr><tr><td>○会議の設置 ○課題整理</td><td colspan="4"></td></tr></table> 【平成30年度到達目標】 被災者の恒久的住まいへの移行後、孤立化防止に向け、関係課、関係機関と検討を行う。		H30	H31	H32	...	H35	○会議の設置 ○課題整理				
H30	H31	H32	...	H35								
○会議の設置 ○課題整理												
平成30年度の実施状況 (12月末現在)	第1回(4月12日) 被災者支援の現況・課題の報告及び各種支援制度等について情報の共有 第2回(8月27日) 現状報告及び各課・関係機関の住まい再建後の支援策(既存事業)について情報の共有 第3回(12月5日) 現状報告及び住まい再建後の支援策についてワークショップ(主要意見:地域での交流会及び地域情報の提供が必要) 第4回 2月以降で開催予定											
2019年度 事業展開方針	・被災者支援の現状報告とともに、恒久的住まいに移行後の支援策については、既存部署での事業展開について情報共有を行っていく ・高齢者サロン等通いの場や地域イベントなど地域情報の提供(地域情報マップなど) ・災害公営住宅(秋津 36世帯 8月完成予定)でのコミュニティ構築支援(交流会の実施)											

【様式①】 「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課名 保健子ども課、福祉課、総務企画課、保護課、区民課、まちづくりセンター、ささえあい、市社協東区事務所、自治協等地域組織、障がい者相談支援センター	整理番号 1-5-1	主な取組 東区まちづくりシンポジウム										
事業概要	住民が住みなれた地域でいきいきと住み続けることができるまちづくりを目指し、市民参画と協働により実施している地域の活動について、まちづくりシンポジウム等において報告するとともに、先駆的事例の紹介、講演等を通して地域包括ケアシステム推進に寄与する。											
目 標	まちづくりに関する様々な視点からの活動報告や講演を通して、地域の関係機関がそれぞれの立場で役割を確認し、ソーシャルキャピタルを強化する。											
H29年度 事業実績	テーマ:「情熱東区～未来を創る地域の力～」 目的:健康やつながりをテーマに住民主体のまちづくりを実践している事例の報告や地域包括ケア推進に関する講演を行い、市民参画と協働による自主、自立のまちづくりを推進する。 開催日:平成30年2月4日 参加者数:256名(校区自治協、民児協、社協、ボランティア、医療機関等)											
課題	・区のまちづくりを関係各課一丸となって取り組む機運を高めていく必要がある。 ・次年度以降のシンポジウムの開催について、方針の協議を早期に行う必要がある。											
今後の展開・方針	・まちづくりに関するさまざまな視点からの活動報告や講演を通して、自主・自立のまちづくりの推進を図る。 ・東区関係各課のプロジェクトチームによる企画・運営により実施する。 ・まちづくりセンター単位でのシンポジウム開催を検討する。 【スケジュール】 <table border="1" data-bbox="523 1384 1201 1525"> <thead> <tr> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>...</th> <th>H35</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○年1回程度の開催</td> <td>○地域課題毎に開催</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">→</td> </tr> </tbody> </table> 【平成30年度到達目標】 ・関係各課の連携によりシンポジウムの企画、運営、評価を実施することができる。 ・まちづくりシンポジウム開催でのアンケート結果、8割以上の参加者がボランティア組織間の連携の必要性について理解する。		H30	H31	H32	...	H35	○年1回程度の開催	○地域課題毎に開催	→		
H30	H31	H32	...	H35								
○年1回程度の開催	○地域課題毎に開催	→										
平成30年度の実施状況 (12月末現在)	テーマ:「東区でつながるボランティアの輪」 目的:校区単位または区全体でボランティアがグループ化されることで、より地域に根ざしたボランティア活動の拡大と市民参画と協働による自主・自立のまちづくりを推進する。 開催予定:平成31年1月20日(日)											
2019年度 事業展開方針	シンポジウムをボランティア交流会に替えて実施する。											

【様式①】 「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課名 総務企画課 まちづくりセンター、 福祉課、保健子ども課	整理番号 1-5-2 4-4-2(再掲)	主な取組: 市政だよりやSNSの活用										
事業概要	市政だよりや東区ホームページ、フェイスブック、LINE等を活用し、地域の取り組みの紹介や啓発を行う。											
目 標	地域活動に関心を持つ住民の増加。啓発情報がより多くの住民の元に届く。											
H29年度 事業実績	民間広告媒体(熊日すぱいす)を活用し、まちづくりセンターの活動や地域活動情報を提供した。 東区ホームページやフェイスブックに各課の活動状況を掲載し区民へ情報提供を行った。											
課題	SNS(フェイスブック、LINE)に関する熊本市のアカウントについて、市民へ周知が徹底されていないことから、SNS(フェイスブック、LINE)で情報発信しても効果が低い。											
今後の展開・方針	比較的知名度の高い市政だよりや東区ホームページを利用し、SNS(フェイスブック、LINE)に関する熊本市のアカウントについて広報を行う。 今後も、市政だよりやSNSにより、的確でタイムリーな情報発信を継続していく。 【スケジュール】 <table><tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td><td>...</td><td>H35</td></tr><tr><td>○現事業の継続</td><td>⇒</td><td>○評価 ○方針の見直し</td><td>⇒</td><td>○評価 ○方針の見直し</td></tr></table> 【平成30年度到達目標】 最新情報掲載更新毎月1回以上を継続		H30	H31	H32	...	H35	○現事業の継続	⇒	○評価 ○方針の見直し	⇒	○評価 ○方針の見直し
H30	H31	H32	...	H35								
○現事業の継続	⇒	○評価 ○方針の見直し	⇒	○評価 ○方針の見直し								
平成30年度の実施状況 (12月末現在)	H29年度に引き続き民間広告媒体(熊日すぱいす)を活用し、まちづくりセンターの活動や地域活動情報を提供する。 東区ホームページにフェイスブックの記事をミラーリングしホームページでもフェイスブックの記事が閲覧できるよう変更を行った。また、LINEバナーを貼り付けホームページから熊本市LINEへアクセスできるよう変更を行った。 また、区内のSNS関連担当者で話し合い、的確でタイムリーな情報発信のやり方等について整理している。											
2019年度 事業展開方針	市政だよりやSNSにより、まちづくりセンターの活動や地域活動情報等について、的確でタイムリーな情報発信を継続していく。											

【様式①】 「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課名	ささえりあ、福祉課 障がい者相談支援センター、 事業所、専門職	整理番号	2-1-1	主な取組	専門職研修、連携強化										
事業概要	職種・事業所間で、情報共有や研修を実施。														
目 標	健康レベルに応じた自立支援、および地域から孤立しない自立支援の定着。 社会資源の可視化と活用。														
H29年度 事業実績	ささえりあ圏域毎や分野毎に研修会を実施。														
課題	業種の枠を超えた連携（異業種連携および住民との連携の強化が必要）。 会場借用の難しさ（費用面、大人数収容できる会場の確保）。 会議体の整理（類似する会議が増えている）。														
今後の展開・方針	課題に対する後方支援。専門性の向上とともに、地域との連携を推進する。 【スケジュール】 <table><tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td><td>...</td><td>H35</td></tr><tr><td>○現事業の継続</td><td>⇒</td><td>○評価 ○方針の見直し</td><td>⇒</td><td>○評価 ○方針の見直し</td></tr></table> 【平成30年度到達目標】 課題に対する後方支援。研修や連携に寄与する取組の実績把握と課題整理。					H30	H31	H32	...	H35	○現事業の継続	⇒	○評価 ○方針の見直し	⇒	○評価 ○方針の見直し
H30	H31	H32	...	H35											
○現事業の継続	⇒	○評価 ○方針の見直し	⇒	○評価 ○方針の見直し											
平成30年度の実績状況 (12月末現在)	職種あるいは業種別に連絡会を立ち上げ定期的な情報共有、課題検討を進めている。また、今年度開始された自立支援型地域ケア会議の研修や異職種交流等圏域を超えた取組も行われている。														
2019年度 事業展開方針	ささえりあや主任ケアマネの会等と連携、後方支援を継続。（P9「1-2-3 自立支援型地域ケア個別会議」と連動）														

【様式①】 「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課名	ささえりあ、福祉課、まちづくりセンター	整理番号 2-3-1	主な取組：生活支援コーディネーターの会												
事業概要	把握した生活支援と介護予防のニーズや取り組みを共有し、対応を協議する。														
目 標	地域情報の共有。必要なサービスの開発やネットワークの構築を推進する。														
H29年度 事業実績	月1回実施。ささえりあの生活支援コーディネーターとまちづくりセンター、福祉課にて、地域づくり活動と社会資源に関する情報を共有。														
課題	協議体、及びまちづくり担当実務者連絡会との連携、連動が必要。														
今後の展開・方針	情報共有と共通する課題の検討を行うことで、必要なサービスの創出やネットワークの構築等、各ささえりあ圏域での取組を推進する。 【スケジュール】 <table><tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td><td>...</td><td>H35</td></tr><tr><td>○現事業の継続</td><td>⇒</td><td>○評価 ○方針の見直し</td><td>⇒</td><td>○評価 ○方針の見直し</td></tr></table> 【平成30年度到達目標】 生活支援コーディネーターとまちづくりを担当する職員の連携強化を図る。					H30	H31	H32	...	H35	○現事業の継続	⇒	○評価 ○方針の見直し	⇒	○評価 ○方針の見直し
H30	H31	H32	...	H35											
○現事業の継続	⇒	○評価 ○方針の見直し	⇒	○評価 ○方針の見直し											
平成30年度の実施状況 (12月末現在)	月1回の会議を開催。住民による生活支援サービスの創出に向け、助け合いの意識の醸成や具体的活動（見守りや配食・会食等）、地域や事業所との連携に関する情報交換と検討を行っている。														
2019年度 事業展開方針	現在の取組を継続。														

【様式①】 「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課名 保健子ども課 福祉課、保護課 食育ネットワーク、小中学校PTA、 子育て支援ネットワーク	整理番号： 3-2-1 3-3-2	主な取組： 生活習慣病予防対策事業 生活習慣病重症化予防										
事業概要	生活習慣病予防のための健康教育・健康相談を実施する。 食育ネットワークを活用した食育や学校PTAと連携した健康づくり活動を実施する。											
目 標	正しい生活習慣の確立と、定期的な健康診断・生活習慣改善による、生活習慣病予防に取り組む。 生活習慣病に対する正しい知識の啓発および、早期発見・早期治療と、生活習慣改善や適切な治療の継続支援を行う。											
H29年度 事業実績	○生活習慣病予防対策事業 ・糖尿病予防をテーマに健康づくりイベントを実施(簡易血糖検査実施 6回 318名) ・食育月間、PTAバザー等での栄養相談 9回 665名、その他面接相談 141名 ・栄養士による健康教育13回 257名 ・PTAバザー等での歯科健康相談 11回 913名、その他面接相談 7回 10名 ・高齢者サロン、子育てサークル等で特定健診受診勧奨等の啓発活動実施 ○生活習慣病重症化予防 ・国保生活習慣病重症化予防フォロー対象者への文書による受診勧奨 4回 70名 ・国保生活習慣病重症化予防フォロー対象者、生保者健診フォロー対象者に対する家庭訪問 延54名											
課題	・市では校区単位の健康まちづくりの中での簡易血糖検査の実施を進めているが、ターゲット世代へ実施する機会が少ない。現時点では、個別フォローに留まっており、蓄積したデータを元に評価を行い、今後の展開を検討する時期にある。 ・働き盛り世代をターゲットにした糖尿病対策を推進するためには、事業所等を巻き込んだ事業展開(健康を支える環境の整備)を検討していく必要がある。											
今後の展開・方針	・ まちづくりセンターと連携し、働き盛り世代をターゲットにした糖尿病予防の健康教育、健康相談を実施する。 ・ 歯科・栄養・保健の協働による生活習慣病予防事業を企画、実施する。 ・ 熊本市の生活習慣病予防フォローアップ基準に基づく、重症化予防の取組みを継続する。 【スケジュール】 <table><tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td><td>...</td><td>H35</td></tr><tr><td>○健康教育 ○健康相談 ○食育ネットワーク</td><td>⇒</td><td>○評価 ○方針の見直し</td><td>⇒</td><td>○評価 ○方針の見直し</td></tr></table> 【平成30年度到達目標】 ・東区の生活習慣病予防対策事業について検証し、予防対策の体系を整理するとともに、あらたな事業展開について検討する。		H30	H31	H32	...	H35	○健康教育 ○健康相談 ○食育ネットワーク	⇒	○評価 ○方針の見直し	⇒	○評価 ○方針の見直し
H30	H31	H32	...	H35								
○健康教育 ○健康相談 ○食育ネットワーク	⇒	○評価 ○方針の見直し	⇒	○評価 ○方針の見直し								
平成30年度の取組状況 (12月末現在)	○生活習慣病予防対策事業 ・糖尿病予防をテーマに健康づくりイベントを実施(簡易血糖検査実施 5回 188名)、 ・食育月間等での栄養相談(1回 150名)、区民まつりでの食育啓発(1回 259人)、その他面接相談 94名 ・生活習慣病予防教室(2回開催予定)(1回 17人) ・歯たちの健診等での歯科相談(11回 1,188名) ○生活習慣病重症化予防 ・国保生活習慣病重症化予防のフォロー対象者に対する文書または訪問による受診勧奨の実施(文書発送 9回 157名、訪問延8名)											
2019年度 事業展開方針	若い世代からの生活習慣病予防(特に糖尿病予防)の強化											

【様式①】 「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課名 保健子ども課、 シルバー人材センター 小学校、 熊本市8020健康づくりの会東支部	整理番号 3-2-2	主な取組：フッ化物洗口事業										
事業概要	児童及び生徒の歯と口腔の健康の保持増進を推進するため、小学校及び中学校においてむし歯予防に効果があるフッ化物洗口を行う。 ※フッ化物洗口とは、フッ化物洗口液で1分間ぶくぶくうがいをするむし歯予防法(週1回法)											
目 標	平成33年度までに、全小学校(18校)の1・2学年でフッ化物洗口を開始する。											
H29年度 事業実績	・東区管内の小学校 西原小学校1校が実施した(週1回)。 ⇒対象1～3年生 実人数319人/333人中(3月末)、回数 30回											
課題	平成33年度までに小学1,2年生を対象に「週1回法」によるフッ化物洗口を全校実施するとの方針に沿って新規実施予定校に対して実施への不安を取り除くために早い段階から学校と連絡・調整を図る必要がある。											
今後の展開・方針	フッ化物洗口を円滑に実施できるように、今後、学校や業務受託者、熊本市8020健康づくりの会東支部と連携して支援を行う。 【スケジュール】 <table><tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td><td>...</td><td>H35</td></tr><tr><td>○継続1校 新規3校 ○新規開始校への説明および研修会</td><td colspan="2"></td><td>○33年度 18校区</td><td>○評価 ○方針の見直し</td></tr></table> 【平成30年度到達目標】 ・新規3校(泉ヶ丘小・健軍東小・若葉小)でフッ化物洗口を開始する		H30	H31	H32	...	H35	○継続1校 新規3校 ○新規開始校への説明および研修会			○33年度 18校区	○評価 ○方針の見直し
H30	H31	H32	...	H35								
○継続1校 新規3校 ○新規開始校への説明および研修会			○33年度 18校区	○評価 ○方針の見直し								
平成30年度の取組状況 (12月末現在)	・西原小学校は1～3年生で継続実施中(週1回)。 ⇒ 実人数318人/328人中(12月末)、回数21回 ・新規3校については、シルバー人材センターに業務委託であるため、8月にシルバー人材センターとともに打ち合わせを行い、1～2年生を対象に9月から開始した。 児童数(1,2年生合計数):泉ヶ丘小 128名、健軍東小 94名、若葉小 131名 (実施の詳細については、シルバー人材センターから健康づくり推進課へ直接報告となっている)											
2019年度 事業展開方針	新たに5校(画図、秋津、桜木、東町、託麻北)での実施に向けて協議を進める											

【様式①】 「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課名	保健子ども課、福祉課 ささえりあ、市社協東区事務所、 自治協等地域組織、事業所、 ボランティア	整理番号	3-3-1-1 3-3-1-2	主な取組	フレイル予防 高齢者サロンの活動支援										
事業概要	・高齢者サロン等を活用したフレイル予防のための健康教育を実施する。 ・地域で行われる高齢者サロンにおいて、高齢者の介護予防、閉じこもり予防、健康増進を支援する。														
目 標	健康づくりのための運動や生活スタイルの習慣化を進める。 高齢者同士の交流の機会増加および介護予防や健康づくりに関する活動の強化に取り組む。														
H29年度 事業実績	<フレイル予防> ・栄養・口腔機能向上・運動・社会参加について健康教育 ・健康教育の実施回数(延):43回 ・健康教育の参加者数(延):1,166人 <高齢者サロンの活動支援> ・サロン支援回数(延):165回 ・サロンの参加者数(延):3,503人														
課題	・既存のサロンに参加する人が固定化している。 ・多様な通いの場を地域と一緒に開拓していく必要がある。 ・フレイル予防の普及啓発には、専門職、ボランティアが協力し取り組む必要がある。														
今後の展開・方針	・高齢者サロン等を通じて、低栄養予防や骨粗しょう症予防に対する健康教育を行い、生活機能の維持・向上が図れる住民を増やしていく。 ・高齢者サロン以外で多様な活動の場や居場所づくりが確保されるよう、地域への働きかけを行い、高齢者の社会参加の促進を図る。 ・高齢者の居場所、あるいは心の健康支援につながる活動としてサロンの意義を地域と共有し、ささえりあ、まちづくりセンター、健康ボランティア等と協力し側面から活動を支援する。 【スケジュール】 <table><tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td><td>...</td><td>H35</td></tr><tr><td>○高齢者サロン等支援</td><td>○実施と評価</td><td>○実施と評価</td><td>○実施と評価</td><td>○実施と評価</td></tr></table> 【平成30年度到達目標】 フレイル予防に関する歯科・保健・栄養の各教育内容について情報を共有化し、指導内容の充実と教育内容の平準化をはかる。					H30	H31	H32	...	H35	○高齢者サロン等支援	○実施と評価	○実施と評価	○実施と評価	○実施と評価
H30	H31	H32	...	H35											
○高齢者サロン等支援	○実施と評価	○実施と評価	○実施と評価	○実施と評価											
平成30年度の取組状況 (12月末現在)	<フレイル予防> 栄養・口腔機能向上・運動・社会参加について健康教育 ・健康教育の実施回数(延):52回 ・健康教育の参加者数(延):1,116人 <高齢者サロンの活動支援> ・サロン支援回数(延):77回 ・サロンの参加者数(延):1,694人 H30.12月末現在														
2019年度 事業展開方針	高齢者サロン等を通じて、フレイル予防の健康教育を実施。また各種ボランティア(健康まちづくり推進員・8020推進員・食生活改善推進員)と協力し健康教育を実施。														

【様式①】 「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課名	福祉課、 ささえあい、まちづくりセンター、 保健子ども課、 自治協等地域組織、専門職 事業所、市社協東区事務所	整理番号 3-3-1-3	主な取組: くまもと元気くらぶ										
事業概要	市が推奨する運動を、週1回以上、継続的に行う住民主体の取り組み。												
目 標	生活機能低下(閉じこもり予防・認知症予防・うつ等)の予防と、高齢者がやりがいや存在意義を感じながら力を発揮できる環境づくり。												
H29年度 事業実績	活動団体:4団体 参加者数(登録者数):102名 相談件数:27件 要件や申請の煩雑さなどを理由に、申請を断念した団体もあった。												
課題	申請、報告の煩雑さ。 今後も活動団体が増えた際の、リハビリテーション専門職の人員不足。 「住民主体」という意識の浸透と、住民の主体的活動を支える体制づくり(ボランティアの活用等)。												
今後の展開・方針	他区とともに現状の課題整理を進め高齢介護福祉課と協議する。 介護予防サポーター等の活用(啓発・広報、計測等の活動支援)により、より主体的な活動に移行できるように支援する。市政だよりやSNS等を活用し、活動を紹介することで介護予防・自立(自律)意識の浸透と通いの場の増加をめざす。 【スケジュール】 <table><tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td><td>...</td><td>H35</td></tr><tr><td>○現事業の継続 ○推進方法の検討</td><td>⇒</td><td>○評価 ○方針の見直し</td><td>⇒</td><td>○評価 ○方針の見直し</td></tr></table> 【平成30年度到達目標】 介護予防サポーター等の人材の活用を検討する。 他区とともに現状の課題整理を進め高齢介護福祉課と改善に向け協議する。			H30	H31	H32	...	H35	○現事業の継続 ○推進方法の検討	⇒	○評価 ○方針の見直し	⇒	○評価 ○方針の見直し
H30	H31	H32	...	H35									
○現事業の継続 ○推進方法の検討	⇒	○評価 ○方針の見直し	⇒	○評価 ○方針の見直し									
平成30年度の取組状況 (12月末現在)	10団体が活動中(2月に11団体目が活動開始)。介護予防サポーターが運営する団体も複数ある。公民館主催講座としていきいき百歳体操の体験会やスキルアップ講習会が予定されている。広報誌等に掲載されると反響は大きく、運動ができる通いの場に対するニーズの高さが伺える。 申請の煩雑さ等の課題については、5区で課題の共有を図り、高齢介護福祉課との協議を継続している。												
2019年度 事業展開方針	団体同士の交流会等を企画し活動の活性化を図る。また介護予防の会や介護予防サポーター等と連携し、新たな立ち上げを推進する。また、ケアマネや医療機関への情報提供等、虚弱状態にある人へ参加を呼びかける手段について検討する。												

【様式①】 「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課名 福祉課、 ささえりあ、保健子ども課、 まちづくりセンター キャラバン・メイト、 市社協東区事務所、専門職、 企業、学校	整理番号 4-1-1-1	主な取組： 認知症サポーター養成講座										
事業概要	認知症を理解し、認知症の方と家族を見守り応援する人材を育成する。											
目 標	認知症を理解し、認知症を特別視しない意識の定着。認知症であることを打ち明けやすくなる。											
H29年度 事業実績	養成数：1861名 模擬訓練実施校区の小学校にて講座が開催され、東区では初めて小学生サポーターが誕生。世代の広がりがみられた。											
課題	若い世代への啓発の機会が少ない。 様々な世代に対応できるキャラバン・メイトのスキルアップ。 「働く世代にできる見守り」に関する意識の醸成とその拠点の創出。											
今後の展開・方針	若い世代への啓発、養成を推進するため、学校や事業所に向けたPRを継続。市政だよりやSNS等を活用し、地域や事業所での実施状況等を広報することで、住民の関心を惹起し、養成数の増加や見守り拠点の創出をめざす。 年5回開催しているキャラバン・メイトの会や年1回の交流会をとおして、課題の検討や情報交換、スキルアップの機会を確保する。 【スケジュール】 <table><tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td><td>...</td><td>H35</td></tr><tr><td>○現事業の継続 各年1,000人養成</td><td>⇒</td><td>○評価 ○方針の見直し</td><td>⇒</td><td>○評価 ○方針の見直し</td></tr></table> 【平成30年度到達目標】 毎年1,000人の養成を目標に、特に若い世代(学生)の養成数の増加をめざす。 キャラバン・メイトの会において養成講座の教材の検討を行う。		H30	H31	H32	...	H35	○現事業の継続 各年1,000人養成	⇒	○評価 ○方針の見直し	⇒	○評価 ○方針の見直し
H30	H31	H32	...	H35								
○現事業の継続 各年1,000人養成	⇒	○評価 ○方針の見直し	⇒	○評価 ○方針の見直し								
平成30年度の実施状況 (12月末現在)	養成数：1,483名(12月末現在) 学校での養成講座の開催を図るため、東区管内の市立小中学校長宛に依頼文を発出。また、見守りの拠点づくりとサポーターの存在を広く周知するため、事業所単位で受講した場合にはステッカーを配布し、掲示を依頼している。 また、より良い養成講座の開催をめざし、講師(キャラバン・メイト)のスキルアップのための研修会を開催予定(3/14)。またキャラバンメイトからの意見を集約し、養成講座に役立つQ&A集を作成予定。											
2019年度 事業展開方針	「働く世代にできる見守り」として、これまでサポーター養成講座が行なわれていない業種への働きかけ(開拓)について、キャラバンメイトやささえりあ、事業所等と検討する。											

【様式①】 「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課名 福祉課、 保健子ども課医療機関、 ささえあい、 専門職、	整理番号 4-2-1-1	主な取組： 認知症サポート医連携推進										
事業概要	連携の推進役となるサポート医間の連携を強化し、かかりつけ医等との連携体制の充実について検討する。											
目 標	発症初期の経過観察や専門医受診までの期間をサポートする体制づくりと、診断後も本人と家族の日常を支える地域医療体制の充実をめざす。											
H29年度 事業実績	(新規事業)											
課題	本人の拒否等で専門医の受診や診断まで時間を要する事例も多い。 そのような中、認知症への気づきや専門医への受診の必要性、BPDSへの対応への助言等、本人や家族にとっても最も身近なかかりつけ医からのサポートが欠かせない。 また、認知症診断等に関してかかりつけ医の相談・アドバイザー役となるサポート医との連携強化が必要だが、サポート医の認知度が十分とはいえず、サポート医間をつなぐネットワークもない。											
今後の展開・方針	発症初期の経過観察や専門医受診までの期間をサポートする体制づくりと、診断後も本人と家族の日常を支える地域医療体制の充実をめざし、平成31年度の始動を目処に、検討を進める。 【スケジュール】 <table><tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td><td>...</td><td>H35</td></tr><tr><td>OH31年度開始をめざし検討</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 【平成30年度到達目標】 平成31年度の始動を目処に、サポート医や関係機関との協議を進める。		H30	H31	H32	...	H35	OH31年度開始をめざし検討				
H30	H31	H32	...	H35								
OH31年度開始をめざし検討												
平成30年度の実施状況 (12月末現在)	H30年度作成の認知症サポートブックに東区管内のサポート医・専門医療機関を掲載。 管内サポート医との連携強化を検討中。											
2019年度 事業展開方針	・関係機関・部署との協議 ・管内のサポート医との連携強化に向け意見交換会等の開催を検討											

【様式①】 「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課名 福祉課、 ささえりあ、ボランティア、 事業所、専門職、医療機関	整理番号 4-2-1-2	主な取組： 認知症カフェ連絡会										
事業概要	情報共有をとおして、認知症カフェの企画・運営等に関する課題の解決を図る。											
目 標	認知症カフェの認知度が高まり、カフェが当事者や家族の居場所、相談の窓口、当事者の活躍の場として利用されることをめざす。											
H29年度 事業実績	東区管内にあるカフェの運営者が集まり隔月で実施。カフェの企画・運営等に関する情報交換や勉強会、認知症サポートブックに関する意見交換を実施。											
課題	認知症カフェの認知度が低いためか、利用者が少ない。											
今後の展開・方針	共通する課題の検討や各カフェ協働の取組をとおして、カフェの認知度の向上と居場所、相談窓口、活躍の場として利用されることをめざす。また市政だよりやSNSの活用、および認知症サポートブックの配布を継続する。 【スケジュール】 <table><tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td><td>...</td><td>H35</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>○評価 ○方針の見直し</td><td></td><td>○評価 ○方針の見直し</td></tr></table> 【平成30年度到達目標】 利用者を増やす取組について検討し、各カフェでまたは全体で実施する。		H30	H31	H32	...	H35			○評価 ○方針の見直し		○評価 ○方針の見直し
H30	H31	H32	...	H35								
		○評価 ○方針の見直し		○評価 ○方針の見直し								
平成30年度取組状況 (12月末現在)	隔月の連絡会開催を継続。周知（認知度UP）のための取組としてスタンプラリーカード作成。今年度中にはささえりあやまちセン、事業所等にも配布予定。認知症カフェの認知度を高めるため、認知症カフェの第一人者を招き講演会を実施した。 H30年度作成の認知症サポートブックに東区管内の認知症カフェを掲載。認知症カフェが2ヶ所増。											
2019年度 事業展開方針	カフェ（事業所）同士のスキルや資源を共有、活用し合い、カフェ全体の充実を図っていく。											

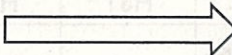
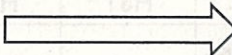
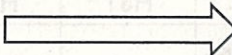
【様式①】 「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課名 福祉課、保健子ども課、ささえあい、専門職、医療機関	整理番号 4-2-2	主な取組: 認知症初期集中支援チームの周知、連携強化										
事業概要	認知症の方(疑いを含む)や家族の受診支援等初期の支援を集中的に(おおむね6ヶ月)行う。											
目標	受診支援の体制の充実。											
H29年度 事業実績	(新規事業)											
課題	現状では比較的進行した状況になって相談につながるものも多く、その結果、本人の安全や周囲への影響が大きく、受診につながるまでに時間を要する事例が多い。											
今後の展開・方針	より早い時期に相談につながるような、相談体制の充実を図る。 【スケジュール】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th><th>...</th><th>H35</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>OH31年度開始をめざし検討</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> 【平成30年度到達目標】 H31年度の実施に向け、地域包括ケア推進室と協議を続ける。		H30	H31	H32	...	H35	OH31年度開始をめざし検討				
H30	H31	H32	...	H35								
OH31年度開始をめざし検討												
平成30年度の実施状況 (12月末現在)	主務課(地域包括ケア推進室)に相談、協議。											
2019年度 事業展開方針	様々な広報・啓発の機会を捉え、相談窓口の周知や、認知症ケアパス(認知症の進行状況に合わせて、認知症の人やその家族がどのような相談・支援サービスを受けることができるかを示すもの。現在地域包括ケア推進室にて作成中。)の活用を努める。 認知症に関する困りごとを抱えながらも相談につながっていない人の掘り起こしや、専門医を受診するまでの期間をサポートする体制づくりについては「4-2-1-1 認知症サポート医連携推進」(P30)として検討を進める。											

【様式①】 「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課名 福祉課、 まちづくりセンター 保健子ども課、ささえあい、 警察、専門職、学校 自治協等地域組織、専門職 事業所、医療機関 市社協東区事務所	整理番号 4-2-3	主な取組 認知症高齢者等見守りネットワークの 体制整備										
事業概要	本人や家族の同意を得て、情報を関係機関で共有し、行方不明時の連絡体制を整える。											
目 標	日ごろの見守り体制の強化、ならびに行方不明時には早期に安全を確保できる。											
H29年度 事業実績	(新規事業)											
課題	現状としては、行方不明になった後、家族の同意を得て情報共有を開始するため、本人の安全確保に時間を要する。また警察によって保護された方の氏名等が不明な場合の対応について、明確になっていない。											
今後の展開・方針	協議等がまとまれば、周知に努め、見守り強化の推進を図る。 【スケジュール】 <table border="1" data-bbox="539 1153 1217 1305"> <tr> <td>H30</td> <td>H31</td> <td>H32</td> <td>...</td> <td>H35</td> </tr> <tr> <td>○H31年度開始をめざし検討</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 【平成30年度到達目標】 協議等がまとまれば、周知に努め、見守り強化の推進を図る。		H30	H31	H32	...	H35	○H31年度開始をめざし検討				
H30	H31	H32	...	H35								
○H31年度開始をめざし検討												
平成30年度の取組状況 (12月末現在)	1層に提言。地域包括ケア推進室から県警本部へ打診。県警としては県域全体で体制づくりを推進したいとの意向あり。											
2019年度 事業展開方針	未定											

【様式①】 「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課名 福祉課、 自治協等地域組織	整理番号 4-3-1	主な取組: 災害時要援護者支援制度の周知						
事業概要	災害発生時に自力で避難する事が困難な方等を地域ぐるみで支援する。							
目 標	災害時における要援護者対応の充実。							
H29年度 事業実績	・健康福祉政策課より H29年12月に14,280人(市全域)の方に利用勧奨通知を送付。 H30年3月15日現在で約1,400人(市全域)から申請書を受付。							
課題	要援護者の支援者がなかなか見つからない(障がいの特性に応じた支援者が見つからない)ため、登録まで時間がかかっている							
今後の展開・方針	○利用者へ勧奨通知を送付するとともに、民生委員や市社会福祉協議会、自治協議会等地域の組織や支援者に対して、制度の説明や障がいの特性について説明する 【スケジュール】 <table><tr><th>H30</th><th></th><th>H31</th></tr><tr><td>○周知 ○利用勧奨</td><td></td><td>避難行動要支援者に占める災害時要援護者の割合として、平成31年度末に50%を目標</td></tr></table> 平成30年1月1日時点で、避難行動要支援者 38,397人 災害時要援護者9,200人 23.9%にとどまっている。 【平成30年度到達目標】 平成31年度末に50%の目標に近づけるよう課題に取り組む		H30		H31	○周知 ○利用勧奨		避難行動要支援者に占める災害時要援護者の割合として、平成31年度末に50%を目標
H30		H31						
○周知 ○利用勧奨		避難行動要支援者に占める災害時要援護者の割合として、平成31年度末に50%を目標						
平成30年度の実施状況 (12月末現在)	・要介護3～5の制度未登録者 6,991人への郵送による登録勧奨通知を送付。 (健康福祉政策課より)							
2019年度 事業展開方針	事業を継続。							